

ZENRAKUREN 全酪連会報 7

2025 JUL No.718



酪農とのかけはし/
(株)シン・ベッツ

父の日に牛乳を贈ろう! 前編

第51回 らくのうこどもギャラリー
入賞作品紹介

日本酪農見て歩紀/
花井紀仁牧場
(愛知県大府市)

酪農トピックス/
全国農協乳業協会
「令和7年度定時総会」の開催について
(酪農部)ほか

酪政連活動報告

(一社)全酪アカデミー活動報告

全酪新報ダイジェスト版

全酪連ギフト商品について

全酪連 定期刊行物のご案内

バックナンバーはQRコードから閲覧いただけます。



全酪連会報

⇒ <https://www.zenrakuren.or.jp/kaiho/>

COWBELL

⇒ <https://www.zenrakuren.or.jp/cowbell/>



全国酪農業協同組合連合会

酪農との かけはし



第56回 (株)シン・ベッツ

生産者とともに 山の頂を目指して

農家さんを豊かにする



シン・ベッツ

HPはこちら

<https://syn-vets.com/>



SYN・VETS

北海道の東、別海町。そこは人よりも牛が多く存在することよく知られている町です。2024年は春の

センバツ高校野球にて別海高校が出場し、球児たちの全力プレーで当時町は盛り上がりを見せました。その余韻が残る別海町の街中にある、とある一軒家がこの度ご紹介する(株)シン・ベッツです。

(株)シン・ベッツ

は獣医師である大塚優磨さんが代表を務めており、奥さまの理永さんと2人で活動しています。優磨さんが2021年に共済組合を退職し同年にシン・ベッツを開業しました。理永さんは2022年

▲ 大塚優磨さん・理永さんご夫妻

に共済組合を退職の後、同年にシン・ベッツに入社しました。2024年に法人化し現在の(株)シン・ベッツに至ります。

会社の名前は理永さんの発案で、「シン」は英語の接頭辞である「SYN」の「共」 という意味から来ています。転じて、農家さんに寄り添う獣医学を目標としたという願いが込められています。また、「シン」は新、真、信、進、芯など様々な漢字に置き換えられることで、多様で前向きな解釈ができることも気に入っています。と優磨さんは仰っていました。

「ベッツ」は獣医師を意味する英語の「veterinarian」の複数形を、しばしば「VETS (ベッツ)」と略称で使われることに由来します。この2つを

組み合わせ、「農家と共に歩む獣医師たち」を意味する「シン・ベッツ」が誕生しました。余談ですが、創作が趣味の理永さんが発案した会社のロゴには、カタカナの「シン・ベッツ」の文字が隠されています。

農家さんの悩みを解決することが仕事

北海道の釧路・根室管内を中心に活動しています。最近では道東エリアの枠を超えて十勝や本州方面にも活動範囲を広げているそうです。主な業務は繁殖検診や飼料設計の打ち合わせ、飼養管理に関する改善提案など多岐に渡ります。また、酪農情報雑誌への寄稿、オンライン・オフラインセミナーの講師、YouTubeによる動画投稿といった活動もされ



ており、周り回って生産者や大学の教授、各メーカーなど業界人との新たな出会いが増えているそうです。

シン・ベッツの理念は、農家が金銭的にも労力的にも精神的にも「豊か」になることです。開業当初、一般的なコンサルタント業を主とするのであれば牛の病気と付き合う機会は激減するだろうと、優磨さんは考えていたそうです。ところが、どんな農場であっても多かれ少なかれ何かしらの病気が発生する現状があり、特に子牛や育成牛の飼養管理に悩む農家が多いことに気づいたそうです。子牛の飼養管理の担当者（特に奥様方）から「また体調不良の子牛が出ているのではないかと考えると、毎朝牛舎に行くのが怖くなる」という悩みを聴く機会が多かったこともあり、乾乳牛の飼養環境やエサの見直し、子牛へ確実に免疫を移行させるための初乳管理プログラムの作成、哺乳期および育成期の飼養管理の見直しなど、開業当初は自然と乾乳・哺乳・育成の飼養管理に的を絞るかたちで活動していたそうです。その後も農家が抱える様々な悩みに寄り添って、農家が「豊か」になることを理念に活動を続けて今に

至ります。

「全て農家さんのお悩みベースから始まることですので、厳密に何をやっているのかは僕も上手く説明できないですね。言うなれば、農家さんの何でも屋さん、かも知れないです。」と、2人で顔を見合わせながら話す姿が印象的でした。

やりがいは前向きに変わっていく姿

「特にやりがいを求めてやっているわけではありませんが…」と前置きしつつ「農家のことがとにかく好きです！」と、ハッキリとした優しい2人の口調に、先を照らす様々明るさと心強さを感じました。



優磨さんの話ですが、共済獣医として駆け出しの頃、難産の手術に携わる機会があったそうです。手は尽くしましたが子牛の命を救うことは出来ませんでした。それでも、その農家は「頑張ってくれたのは見ていて十分に伝わった。ありがとう。」

と言葉をかけてくれました。多くの時間を掛けてやっとな生まれきた大切な子牛を救えなかった自分に対して、こんなにやさしい言葉をかけてくれたことにとっても感動し、今でもその出来事を鮮明に覚えているそうです。

それ以来、農家のことが好きになり、農家のために出来ることは何でもやろうという契機にもなったそうです。今ではその思いや行動が付き合う農家の考え方に変化を与えている様で、結果としてバルクが溢れる心配をするほど乳量が増えたり、子牛の健康状態が良くな

ることで育成牛の頭数が過剰気味になったりすることで、良い意味で困ったと農家の方から農場の変化について言葉で伝えてくれる様になったそうです。そうすると、次は何をしようか？と農家の方から相談してくる様になり「前向きに変わっていく農家の姿を見られるのもこの仕事の醍醐味です。」と楽しそうにお話されていました。



▲繁殖検診の様子

2人であることを活かした関係作り

現在は2人で牧場を訪問し繁殖検診をされていますが、将来的には理永さんにも1〜2件ほど担当を持って欲しい、と優磨さん。取材当時はその一環として繁殖検診をほほ理永さんに任せつつ、間違いのないよう監督される光景がありました。また、2人はそれぞれキャラクターも異なるため、その農家さんと波長が合えばお互いに関係性を築きやすく、ストレスのない状態で農家さんが「豊か」になる方法を一緒に考えられる状態を目指していきたいとのこと。

酪農業界へ一言
「業界全体で豊かになってほしい」

「関わることでできる酪農家は限定的ですが、酪農家全体が豊かになって欲しいと思っています。酪農業界と他業界との違いは、他業界はある会社の売上が伸びた場合、競合他社は相対的に売り上げが落ちます。しかし、酪農業はある農場の出荷乳量が伸びたとしても、とくに潰し合いは起きません。良い成績の農場をみて弱気にならず、

自身の農場の成績も上げていくためのモチベーションに繋げてほしいと思います。

また、海外と比べて飼養環境に制限のあるなかで平均30〜40kg/日搾っている日本の酪農家の技術は高いと思っています。哺育技術も海外と比べて管理の難しい和牛を飼養しているので日本の方が高いと感じています。最後に、元気であることで体に気をつけて酪農を頑張ってください。」



今回取材をさせていただいた中で、本当に2人の雰囲気の良いを感じました。これによって生産者もこの人と話したいと思うでしょうし、酪農業に限らず良好な人間関係を築くうえで不可欠なものだと思います。余談ですが、筆者も取材時に現場の推進について悩みを話す機会があり、相手に話してもらうには、自分をオープンにすること、できることと分らないことをはっきりさせること、何よりも明るく、笑顔で話



すことが重要と教わりました。実行して損することはまずないので、シン・ベッツのマインドセットを取り込んで、私自身も生産者が豊かになる要素の一部分であり続けたいと思います。

最後に(株)シン・ベッツのさらなるご躍進を心から願っております。この度はお忙しい中快く取材にご協力くださり誠にありがとうございました。

(根室事務所・井崎)



▲ 農家の意向を聞き取り、飼料メニューを設計する



父の日に

牛乳を贈ろう!

前編

今年も全国各地で
キャンペーンを実施!

全国酪農青年女性会議による「父の日に牛乳を贈ろう!キャンペーン」が、今年も全国各地で開催されました。今年も5月末から父の日である6月15日(日)を中心に、各地域において特色のある活動を全国で展開しました。2か月に渡って、各地で実施されたキャンペーンの一部をご紹介します。

北海道

●北海道酪農青年女性会議

北海道酪農青年女性会議は釧路市と江別市のこども園を訪問し、クイズと牛乳・ミルメークのプレゼントを行いました。毎年参加者を困らせる質問コーナーはQ&Aを用意して臨み、「どうして牛は白と黒なの?」には無事に答えることができましたが、初めての「どうして牛のおっぱいから牛乳が出るの?」と言う難問には参加者が頭をひねって回答しました。子どもたちは本当に素朴な疑問を抱くのですね。

委員の地元である釧路市は初めての開催となり、当日は希望する保護者も参加されました。年長組では近隣の牧場見学も実施しているそうなので、クイズや質問を思い出しながら実際の牛を見て理解を深めてくれることを期待しています。

6月11日(水)には、北海道庁にて鈴木直道知事と意見交換を行い、牛乳を贈呈しました。

(詳細は18Pのトピックスに掲載)



宮城県

●東北酪農青年女性会議

東北酪農青年女性会議は、「父の日」に合わせ、消費拡大運動となる「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーンを6月14日(土)に仙台市太白区にある「せんだい農業園芸センター」にて実施しました。当日は途中から小雨が降る状況となりましたが、早朝から園内に咲くバラを観にくるご家族連れなどで賑わい、準備した約500セットのパンフレット、ミルメーク等を配布しました。

近年は毎年当会場を利用して実施しており、キャンペーン・配布物を楽しみにされている方もいます。「毎日牛乳飲んでますよ」「応援していま

す!」等声をかけていただき生産者と消費者が交流できる場にもなっています。引き続き、消費拡大・理解醸成活動に取り組んで参りたいと考えています。ご協力いただきました関係者の皆様ありがとうございました。



岩手県

●岩手中央酪農業協同組合

日時：令和7年6月15日(日)
場所：第20回 8020健康フェスタ
(岩手県歯科医師会館)



●新潟県酪農同志会

日時：令和7年6月7日(土)
場所：サマースイーツフェスタあがの2025
(阿賀野市「道の駅あがの」)

サマースイーツフェスタあがの2025に参加し、スーパーで新潟県産牛乳を手にとってもらえるようなPOP制作を来場者の皆さんにしてみました。作成して頂いた方には牛乳・ミルク・酪農グッズを配布し消費拡大をPRしました。POPは夏休み期間を中心に、県内小売店等への掲示を予定しています。



●JA新潟かがやき

日時：令和7年6月14日(土)、15日(日)
場所：新潟かがやき直売所いっぺこ〜と周年祭
(新潟かがやき直売所いっぺこ〜と)
ミルクと共に牛乳月間に合わせた消費拡大の取り組みで牛乳も配布しました。



●愛知県酪農協青年女性部

愛知県酪農協青年女性部は、毎年『父の日メッセージはがき』を募集し優秀作品に選ばれたご家族へ乳製品の贈呈を行っています。今年も107点もの応募があり、その中から優秀賞40点を選出し、入賞者には乳製品の詰め合わせを進呈しました。

●中部酪農青年女性会議

日時：6月4日(水)
場所：東海農政局
※詳細は21Pのトピックスに掲載



▲ 応募作品



▲ 応募作品



▲ 選考風景

●岐阜県酪農青年女性会議

岐阜県酪農青年女性会議は、6月2日(月)に岐阜県庁を訪れ、江崎禎英知事への牛乳贈呈式を行いました。

毎年、岐阜県産の牛乳を贈呈しており、今年は美濃酪農農業協同組合連合会の牛乳を贈呈しました。江崎知事は、腰に手を当てたスタイルで牛乳を

一気に飲み干されたあと、様々な牛乳・乳製品の種類について質問をされていました。

ここ数年はコロナ禍による消費減退や、世界各地での紛争や円安による飼料や酪農資材及び燃料の高騰等、大変厳しい酪農情勢の説明を行い、牛乳乳製品の拡売につながる協力をお願いしました。



▲ 牛乳・乳製品の説明を熱心に聞かれる



▲ 集合写真



▲ 江崎知事へ牛乳贈呈

●三重県酪農協青壮年部、女性部

三重県酪農協青壮年部、女性部は三重県庁を訪れ、一見勝之知事に牛乳を贈呈しました。三重県酪農協青壮年部・女性部では「父の日に牛乳を贈ろう！キャンペーン」の一環として、毎年お父さん代表として県知事に贈呈しています。

青壮年部の庄司睦部長が「6月15日は父の日です。家族のため、県民のために頑張っている一見知事に、県内産の牛乳を贈呈に参りました」と挨拶を行

い、一見知事からは「ヨーグルトは花粉症に良いときいてから、ヨーグルトを食べています」や「牛乳は栄養が豊富で活力をもらえる。牛乳を飲んで夏を乗り切りたい」などのお言葉を頂きました。

庄司部長より、飼料や酪農資材価格、燃料・光熱費の高騰・高止まりが数年続いており、酪農家の経営が大変厳しい状況であることを説明し、今後、行政の支援について理解を求めました。



▲(左)庄司部長(右)一見三重県知事



▲一見知事との意見交換



▲集合写真

●愛媛県酪農経営者協議会

愛媛県酪農経営者協議会は6月13日(金)、愛媛県庁を訪問し、県副知事へ県産牛乳・乳製品の贈呈し、併せて県内産牛乳を召し上がっていただきました。また、6次産業化における取組や、第三者継承の事例を当事者から紹介するとともに、酪農情勢下における支援への感謝の意を示しました。



日時：6月1日(日) 場所：博多駅前広場
内容：似顔絵作成、ミルメーク配布



日時：6月1日(日)
場所：道の駅久留米
内容：牛乳・ミルメーク・ツールの贈呈



●ふくおか県酪農青年女性会議

日時：6月2日(月)
場所：福岡県庁
内容：牛乳・乳製品の贈呈



日時：6月2日(月)、6月5日(木)
場所：朝倉市役所・筑前町役場
内容：市長・町長へ牛乳贈呈



●佐賀県酪農婦人部連絡協議会

日時：6月19日(木)
場所：佐賀県内保育所
内容：子供たちに牛や牛乳についてPRし、牛乳やツールの贈呈を行いました。また、7月～3月の9ヵ月間、月2回県産牛乳を贈呈し継続的な消費拡大活動を実施します。



●宮崎県酪農青年女性連絡協議会

日時：6月2日(月)
場所：宮崎県庁
内容：県知事訪問・牛乳・乳製品贈呈



●長崎県酪農業協同組合連合会・長崎県酪農青年女性会議

日時：6月2日(月)
場所：長崎県庁
内容：長崎県知事、農林部長、畜産課長への牛乳・乳製品の贈呈



日時：6月9日(月)
場所：佐世保市役所
内容：市長への牛乳・乳製品の贈呈
商業施設（させぼ五番街）での理解醸成活動



●熊本県酪農女性部協議会

日時：6月5日(木)
場所：熊本県庁、九州農政局
内容：県知事、農政局長への牛乳贈呈式



日時：6月19日(木)
場所：雲仙市役所
内容：市長への牛乳・乳製品の贈呈



日時：6月22日(日)
場所：ジャカラндаフェスタ（小浜町ほっとふっと105付近）
内容：牛乳・乳製品・ミルメークの配布



●鹿児島県酪農青壮年女性会議

日時：6月3日(火)
 場所：鹿児島県庁
 内容：牛乳・乳製品の贈呈



●鹿児島県酪本所青壮年女性部

日時：6月12日(木)
 場所：鹿児島市役所
 内容：牛乳・乳製品の贈呈



日時：6月14日(土)
 場所：鹿児島県内学校
 内容：搾乳体験・仔牛ふれあい体験



●種子島酪農青壮年部・女性部

日時：6月6日(金)
 場所：中種子町役場・
 南種子町役場
 内容：牛乳・乳製品・
 ポスターの贈呈



日時：6月10日(火)
 場所：西之表市役所
 内容：牛乳・乳製品・
 ポスターの贈呈



日時：6月6日(金)
 場所：保育園
 内容：ポスター・ミルメイク・
 似顔絵用紙贈呈



●大隅支所酪農青年女性会議

日時：6月2日(月)
 場所：鹿屋市役所
 内容：牛乳・乳製品・
 ミルメイクの贈呈



●沖縄県酪農青年女性部連絡協議会

日時：6月14日(土)
 場所：イオン南風原店
 内容：県産牛乳の試飲、搾乳体験、似顔絵作成、ミルメイク配布



入賞作品介绍

「らくのうこどもギャラリー」に多数ご応募いただきありがとうございます。
総応募点数は304点でした。その中から12点の入賞作品を選出させていただきました。

特選



「うしさん」

会津若松市立松長小学校 1年(東北)

村上 陽香

画面の半分を牛さんの顔のアップにしたダイナミックな構図が目を引きま。力強いタッチと繊細な色使いで個性的で魅力溢れる作品に仕上がりました。圧倒的な迫力があり特選に相応しい素晴らしい作品です。

総評

皆様、この度は「第51回らくのうこどもギャラリー」にご参加いただき、誠にありがとうございました。そして、昨年を上回る304点もの素晴らしい作品をご応募いただいたこと、審査員一同、心より感謝申し上げます。

「らくのうこどもギャラリー」は今年も、子どもたちの豊かな感性と無限の可能性を感じさせる作品ばかりで、大変感動しました。一枚一枚の絵から、子どもたちが日々の生活の中で見つけた小さな発見や、心に広がる壮大な夢、そして何よりも絵を描くことへの純粋な喜びがひしと伝わってきました。

今年の特選は村上陽香さんの「うしさん」が受賞となりました。ダイナミックな構図と力強い形、繊細な色調から生まれる圧倒的な画面に引き込まれました。水場に並ぶ3頭の牛さんを重ねる事で遠近感を出しています。一番手前の牛さんの顔ははみ出るほど大きく描き、迫力ある存在感が伝わってきます。入選1は矢柳瑠乃さんの「夏の牧場」が選ばれました。鋭い観察眼と水彩の特徴をよく把握した確かな技法で草を食んでいる牛さんと、側で作業をする人物を静謐な空間の中に描いています。画面の隅々にまで丁寧に描かれていて完成度の高さに驚かされました。入選2は小幡莉奈さんの「牛さんありがとう」が選

ばれました。牛さんに対する感謝の気持ちをダイレクトに表現しました。笑顔の莉奈さんと牛さんが微笑ましく、青空に並んだ雲や足元のチューリップがリズムよく画面に配置されていて、楽しい、嬉しい気持ち伝わる一枚です。

今回入賞した作品は、子どもたちの牛さんや自然に対する純粋な愛情と、酪農を感じる生活の中で培われた眼差し、そしてそれを表現する豊かな感性が光っていました。どの作品も、自由な発想と個性豊かな色彩感覚が際立ち、絵を描くことへの純粋な喜びが画面全体から伝わってきます。また、それぞれの絵の中にストーリーやメッセージが込められており、見る人を温かい気持ちにさせてくれます。子どもたち一人ひとりの独創的な視点と、絵画を通して伝えたいという強い思いが凝縮された作品でした。残念ながら賞に選ばれなかった作品も、牛さんへの親しみや絵を描くことの楽しさが伝わってくるものばかりで、力作揃いでした。一つとして同じものは無く、それぞれの作品にかけがえのない価値と魅力があり、私たちに描くことの素晴らしさを再確認させてくれます。

来年も、私たちの健康と食文化を支える酪農を、子どもたちの溢れる創造力によって描き出す「らくのうこどもギャラリー」で、心に響く作品に出会えることを楽しみにしています。

宮島 径 / 写真家
(みやじま・けい)



1967年 長野県生まれ。
1991年 東京藝術大学美術学部芸術学科 卒業。
1993年 デーリイマン写真部入社
1997年 フリーランス・カメラマンとなる。
個展：2002年 「surface」(PLACE M、東京)
2006年 「世界のしくみ」 featuring 麻里布栄 (PLACE M、東京)
2010年 「日照時間 / The Daylight Hours」 (ギャラリー富岡舎、東京)
2016年 「One Another」 (喫茶&ギャラリーウィリアムモリス、東京)
2019年 「裏山現象」 featuring 麻里布栄 (PLACE M、東京)

浅野 智 / 画家
(あさの・さとし)



1964年 神奈川県生まれ
1993年 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻 (油画) 修士課程 修了
2000年 第11回 関口芸術基金賞 優秀賞
2001年 第12回 関口芸術基金賞 大賞
2016年 第1回 枕崎国際芸術賞 協賛賞
2017年 文化庁 文化芸術推進事業 ドローイングの現在 NPO 法人 withART 代表理事

入選 2



「牛さん ありがとう」

千葉市立鶴沢小学校 1年 (関甲信)

小幡 莉奈

可愛らしい女の子が牛乳瓶を片手に牛さんを撫でて、ありがとうの気持ちを伝えています。女の子は莉奈さん本人ですかね、足元にはチューリップの花が咲いていてほのぼのとした雰囲気が伝わってきます。笑顔がいいですね。

入選 1



「夏の牧場」

会津若松市立謹教小学校 5年 (東北)

矢柳 瑠乃

牛舎の中で草を食べる牛さんとマスクをして働く長い髪のお姉さんとの安らかな時間が伝わってくる、ほのぼのとした作品です。薄い色使いで丁寧に濃淡が描かれていて、牛さんの体のボリュームや正面から見た顔の表情がうまく表現できましたね。

入選 4



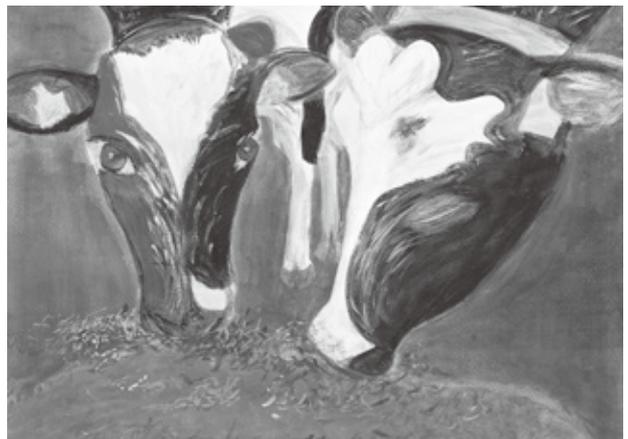
「かわいいうし」

認定こども園 北陽幼稚園・第2北陽保育園 5歳 (北海道)

澤田 夏菜

並んだ牛さんの周りに色鮮やかなハートと蝶々がたくさん描かれていてウキウキした気持ち溢れる、楽しい作品となりました。牛さんの頬っぺたもピンク色に描かれていて可愛さが表現されています。

入選 3



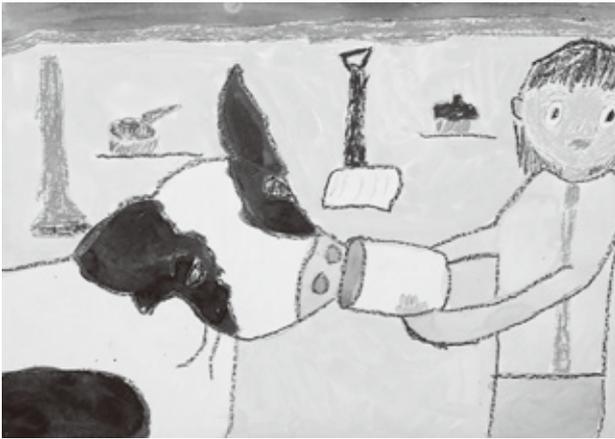
「干し草を食べる牛」

仙台市立富沢中学校 中学1年 (東北)

伊藤 亜珠

二頭の牛さんが顔を近づけて干し草を食べている場面が臨場感豊かに表わされています。牛さんのお顔や干し草など、細かい筆を使って素早い筆跡で描かれ、動きが感じられます。背景の茶色も明暗を活かした複雑な塗り方に挑戦し、絵に深みを感じられます。

秀作2



「はじめてのませたミルク」

那須塩原市立青木小学校 3年 (関甲信)
小針 花架

生まれて間もない子どもの牛さんに初めてミルクを飲ませた場面を、伸びやかな線と明るい色調で表現した作品です。夢中でミルクを頬張る牛さんとにこやかな表情の女の子が微笑ましい作品を生み出しました。

秀作1



「おはよう」

大玉村立大山小学校 1年 (東北)
塩澤 緋果梨

牛さんとヤギさんが黒い輪郭線で縁取られ、力強さが伝わってくる作品です。近景の牛さんとヤギさん、遠景のお家や水平線など、画面構成がとても良いと思います。何かに驚いたように振り向く牛さんの表情と簡略されたヤギさんの表情の対比も面白いです。

ファミリー賞1



「元気な6頭の牛」

中津川市立蛭川小学校 3年 (中部)
箕川 凜

牛舎は上から見た構図で描かれ、牛さんや作業する酪農家は水平の目線で描かれ、とても不思議な絵です。6頭の牛さんはそれぞれ違った仕草で描き分けられ、牛舎の個室が漫画のコマ割りのようでもあり、全体に面白さが感じられる見飽きない絵に仕上がってます。

秀作3

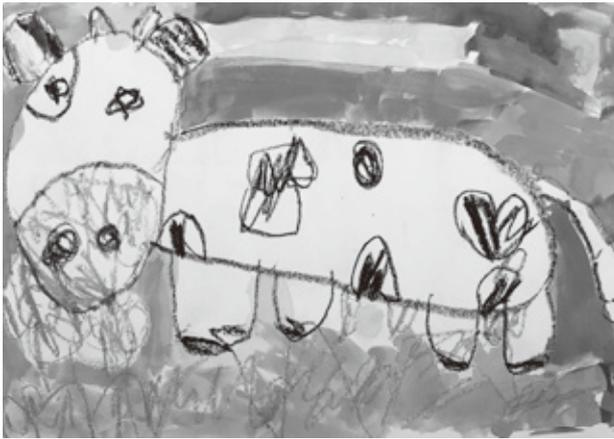


「牛の親子」

浜松市立新原小学校 3年 (中部)
森嶋 洵晴

牛さんの親子が切り絵で表現された作品です。紙をちぎっては貼り、絵に厚みも加わり手作業の楽しさが伝わってきます。牛舎内部の鉄柵がグレーの絵の具で描かれ、背景は黄色いクレヨンで塗られ、作品の仕上げに向けた試行錯誤の跡が見て取れます。

あすなろ賞1



「うしさんおいしいぎゅうにゅうありがとう」

させぼ中央こども園 4歳（九州）

今村 羽奏

画面いっぱいに大きな牛さんが描きましたね。迷いのないクレヨンの線が元気良いです。背景に水彩で描かれたストライプの色の組み合わせが虹のようで、とても心地良い絵だと感じました。

ファミリー賞2



「きょうものもうよ おいしい牛にゅう」

中島村立吉子川小学校 2年（東北）

仁科 壮翔

様々な画材を駆使して表現力豊かに描いています。牛さんと周りの5人のお友達が画面いっぱいに元気よく描かれていて、躍動感のあるダイナミックな構図になりました。子どもたち一人ひとりを個性的に描き分けて、それぞれがこちらに向かって話しかけているように感じます。

あすなろ賞2



「うし」

認定こども園 北陽幼稚園・第2北陽保育園 5歳（北海道）

三上 律由

黒いクレヨンを使った力強い線で迷いなく、牛さんを一気に描きました。その所為でしょうか、牛さんの佇まいにどっしりとした存在感があります。両耳と尻尾に緑、紫、ベージュを使い色彩的にも豊かな感性を感じさせるセンスの良いおしゃれな絵になりました。



見て歩紀

No. 385

花井紀仁牧場
愛知県大府市

地域と共存する酪農 まじめに地道に!! 安定した酪農経営を目指して

地域の紹介

今回訪問させていただいた花井^{はない}紀仁^{のりひと}牧場は、愛知県酪農農業協同組合（鈴木康弘組合長…以下、愛知県酪農協）尾張支所に所属されています。花井紀仁牧場のある大府市は人口が約9万人で、愛知県西部に位置します。大府市の南部には健康・福祉・介護関連の機関が集中する「ウェルネスバレー」を要する都市がありますが、豊田市も近く、自動車産業が盛んな工業都市でもあります。さらに、丘陵部では愛知用水を利用した近郊農業も盛んという場所です。

また、スポーツも盛んであり、オリンピックの金メダリストを輩出するレスリング部や有名なプロ野球選手を育成した高校が有名です。市内には鞍流瀬川や石ヶ瀬川が流れ、緑鮮やかな公園も多く、1年を通して季節の花や虫たちに出会

えます。堤防沿いに咲くカラシナや池に浮かぶスイレンなどの華やかで美しい光景も見られます。さくらまつりやつつじまつりなど、にぎやかなイベントも開催され、夏にはヒメボタルが飛び交い、豊かな自然が数多く残されています。工業都市でありながら、健康都市でもあり、自然も豊かであるため、2018年の「住みよきランキング」では、全国で6位に選ばれるような素晴らしい地区です。このような豊かな大府市で花井紀仁さんは牧場を経営されています。



▲花井紀仁牧場 全景



愛知県大府市

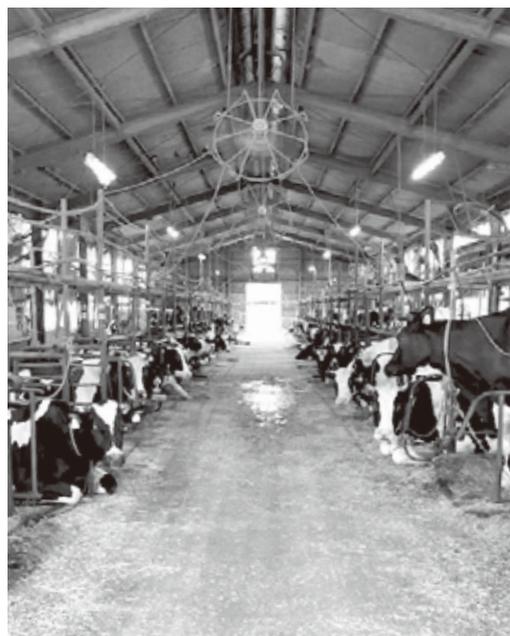


花井紀仁牧場の沿革

花井紀仁牧場は搾乳牛43頭（経産牛50頭）、育成牛10頭を飼養しています。また、肥育牛を20頭飼養されており、いわゆる乳肉複合経営の農家さんです。

労働力は花井紀仁さん本人、奥さん、お母さん、パートさん2人（1日置き）で、奥さんが哺乳管理とエサやり、お母さんが哺乳管理と初産牛の管理、パートさんがエサやりとなっており、花井紀仁さんは搾乳を含む作業全般を行っています。

ここ数年の飼料や酪農資材、燃料価格等の高騰・高止まりにより経営はかなり圧迫されているそうです。複数回の乳価の値上げがありました。



▲ いつもきれいな牛舎

されています。紀仁さんは、地域の代表である生産者委員を担われています。紀仁さんが就農した当初は15戸ほどの酪農家で構成されており、当時は色々な活動がされていたそうです。当時は大勢の部会員が集まり、例えば食

が、コスト増分を補うまでには至っておらず、その対策の一環として、数年前に比べると肥育牛の頭数が増えてきたということです。

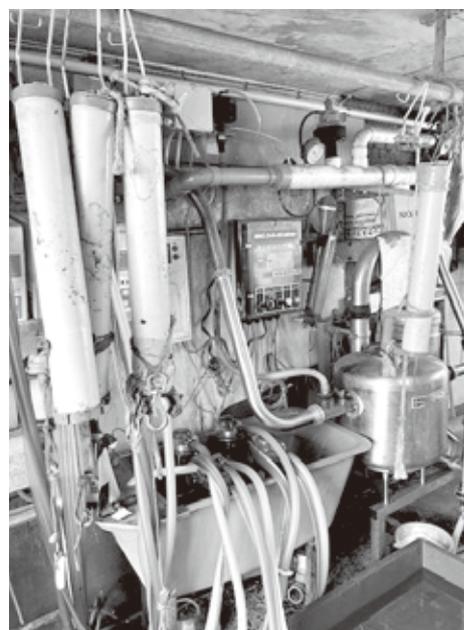
いずれ年を取った時は、体力の問題で、肥育牛の経営にシフトせざるを得ないのではないかとという気持ちを持たれています。花井紀仁さんは現在46歳。体力的にはまだまだ問題ありません。酪農経営が一番安定していると考えておられ、酪農を軸に今後も頑張っていられるそうです。

花井紀仁牧場は、愛知県酪農協尾張支所に所属していますが、愛知県酪農協合併以前の組合の母体であった「名古屋酪農部会（浅井守道部会長・以下、名酪部会）」にも所属

事を取りながら情報交換を行うなど、活気ある催しが企画されていたということでした。

しかし、現在の部会員は6戸となっており、活動自体も昔に比べて少なくなってきたという事です。戸数は少なくなりましたが、残っている酪農家みんなで協力しながら、楽しみながら、今後も元気に酪農経営を続けていけたらとおっしゃっていました。

将来の労働力・体力を心配されている紀仁さんには、3人のお子さんがいらっしゃるようです。一番上に高校2年生の息子さんがいらっしゃるようですが、「酪農を継ぐかどうか分からない。無理強いは出来ないし、好きなことをやらせたい」とおっしゃっていました。しかし「もつと情勢が良くなればこれほど良い仕事はないけどね」ともおっしゃっていました。酪農という、安定している農業は他にはないという考えをお持ちです。今回、数年ぶりに牧場におじゃましたのですが、「この牧場を改善するならばあなたならどうしますか？」



▲ 設備は古いが清潔に保たれている

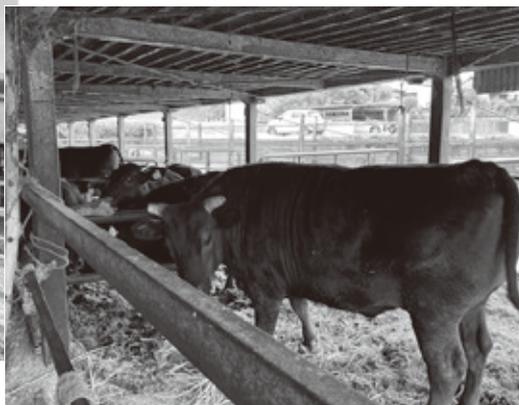
と逆質問を受けました。将来を見据えた労働力の負荷軽減について、いろいろと考えているそうです。牧場が住宅街にあるため規模拡大は難しく、古い牛舎を改修するにも費用がかかる状況です。現状では経費が掛かる改善にはなかなか手を出しづらく、多くの人に話を聞き、やることをやっていこうという考えを持っています。

花井紀仁牧場では細霧機を設置されており、さらに牛舎は風の吹き抜けが良いため、取材当日は真夏日でしたが、牛舎内はとても涼しく感じました。それでも気候の変化に対応するため、新たな対策を日々検討されています。

簡易的な自動給餌機の導入や現在全酪連で進めているサマーリリーフ



肥育牛(乳肉複合経営) ▲▶



について意見交換をし、まずはお金が掛からない対策に取組み、暑熱時の対策をしっかりと行つたうえで猛暑を乗り切り、秋口からさらに経営向上に向けて対策を取っていくことをお互い話し合いました。やはり酪農に対する情熱は昔から変わらない

ようです。

花井紀仁牧場は昔からの住宅地に位置しており、周りを住宅に囲まれています。ご近所とは昔からお付き合いがあるため特に大きなトラブルはありませんが、紀仁さんはご近所に出来るだけ迷惑が掛からないように、

最大限の気を使つていらっしゃるそうです。この「お互い様」の気持ちで、この場所の問題なく経営が出来る要因だと感じたと同時に、紀仁さんとご家族の人柄が大きな一因であると感じました。

経営の概況

愛知県は港が近く、輸入乾牧草の流通が多いことと、圃場となるような土地が少ないことから、自給飼料の栽培が少ない県です。しかしながら、約1haという決して広いとは言えない圃場ではありますが、花井紀仁牧場ではソルゴーを中心とした自給飼料を作付けし、少しでも安定した経営を続けるように努力されています。もちろんこれだけでは足りま



▲ 飼料タンク



▲ 輸入乾牧草(クレイングラス、ライグラスハイ)

せんのので、輸入乾牧草(クレイングラスとライグラスハイ)を購入し、牛へは年間を通して安定的に給与し、経営の安定化に努められています。これらの積み上げと、明るくまじめな性格が厳しい酪農情勢を乗り切ることができている要因だと感じました。

あとがき

この度は取材を快く引き受けて下さいましたこと、深く御礼申し上げます。



▲ 花井紀仁さん

げます。取材を通して感じたことは、以前から変わらず、酪農に対して真摯に取り組んでいらっしゃるということです。

紀仁さんから「厳しい情勢が続いていますが、日本の酪農家全員で頑張っていきましょう。酪農家はそれぞれ状況や悩みは違うと思います。それらを解決・改善する方法もそれぞれだと思います。自分に合った解決方法が必ずあるはずですよ。その方法を見つけて、酪農業界全体が盛り上がっていくように頑張りますよ。自分も頑張ります」と、力強い言葉をいただきました。この言葉に、我々全酪連職員は少しでも酪農家さんのお役に立てるように頑張らなくてはならないと、改めて感じる取材でした。

酪農部
発

全国農協乳業協会
「令和7年度定時総会」の開催について

酪農部が事務局を担っている全国農協乳業協会において、令和7年度定時総会を令和7年6月12日(木) (会場：KKRホテル東京) にて開催いたしました。

当日は、大久保克美会長（東毛酪農業協同組合 代表理事組合長）より最近の酪農情勢を交えた挨拶から始まり、来賓として厚生労働省健康・生活衛生局食品監視安全課課長今川様より、食品衛生行政への日頃からの感謝と合わせて、引き続き安全安心な食品製造への理解についてご挨拶をいただきました。総会の議題としては、「【第1号議案】令和6年度事業報告及び決算の承認に関する件」について、「【第2号議案】任期満了に伴う役員改選に関する件」が協議され、原案通り可決承認されました。結びに、有田副会長（よつ葉乳業株式会社 代表取締役社長）より、閉会の挨拶がありました。

その後、懇親会が開催され、今回の総会をもって

大久保氏が会長を退任し、総会終了後に開催された第2回役員会をもって、新会長に濱名靖氏(榛名酪農業協同組合連合会 代表理事専務)が就任されたことを、岩本事務局長より報告しました。その後來賓としてお越しいただいた、消費者庁食品衛生基準審査課課長補佐 宮川様並びに農林水産省畜産局牛乳乳製品課課長補佐 白尾様よりご挨拶を頂戴しました。また、後藤副会長（日本酪農協同(株) 代表取締役社長）の牛乳で乾杯の発声とともに、今後の牛乳乳製品の消費拡大に協会会員一丸となって取り組むことを祈念いたしました。

今年度も、飲用牛乳の消費低迷が続く中で乳価の改定に伴う製品価格改定もあり、需給に余談を許さない状況が予想されます。引き続き酪農家に一番近い農協乳業を支えるべく、全国農協乳業協会も活動に邁進していききたいと思います。(Y.A)



▲ 大久保会長 挨拶



▲ 濱名新会長と、大久保組合長



▲ 総会風景

	役職名	氏名	所属	役職
1	会長	濱名 靖	榛名酪農業協同組合連合会	代表理事専務 (新任)
2	副会長	有田 真	よつ葉乳業株式会社	代表取締役社長 (重任)
3	副会長	後藤 正純	日本酪農協同株式会社	代表取締役社長 (新任)
4	業務担当理事	佐藤 弘	全国酪農業協同組合連合会	常務理事 (重任)
5	理事	飯田 明	新潟県農協乳業株式会社	代表取締役 (重任)
6	理事	徳丸 洋一	大山乳業農業協同組合	常務理事 (新任)
7	理事	有村 義昭	南日本酪農協同株式会社	代表取締役会長 (重任)
8	監事	鈴木 伸洋	酪王協同乳業株式会社	取締役会長 (重任)
9	監事	島原 吉之	四国乳業株式会社	代表取締役社長 (重任)

札幌支所発

父の日に牛乳を贈ろう！鈴木知事も仲間入り

酪農青年女性会議が毎年実施している「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーンにおいて、北海道酪農青年女性会議（中山斉委員長）は初めて北海道の鈴木直道知事に牛乳を贈呈しました。

同会議では毎年幼稚園・こども園の園児に向けた呼びかけや活動を実施してきましたが、行政への贈呈は行ってきませんでした。しかし、昨年より道においても同趣旨の活動を開始されたこと、また鈴木知事ご自身が他県の知事より当キャンペーンの活動を聞き興味を持ってくださったことから、今回の牛乳贈呈が実現しました。

当日は中山委員長のほか北海道会議の委員3名が参加し、キャンペーンの歴史や北海道での活動について紹介し、またコロナ禍に鈴木知事が実施された牛乳チャレンジへのお礼を述べた後、委員の地元である中標津牛乳を試飲しました。知事からは、「牛乳チャレンジでは映像以上の牛乳を飲んでいた」などの笑い話も交えながら、「北海道の牛乳乳製品を応援したい」とのお話がありました。

この度の知事訪問を受けて、各地域での毎年の活動がこのキャンペーンを支え、広げていることを実感しました。（T.H）



仙 台
支所発

東北酪農青年女性会議 今年度の各行事の具体案について協議しました

東北酪農青年女性会議（斎藤忠義委員長）は5月30日(金)、第3回委員会を仙台市内で開催し今後の活動内容について協議並びに確認をしました。第52回全国酪農発表大会（開催：岡山県岡山市）については東北酪農青年女性会議から50名の参加を目指し、今年は東北酪農青年女性会議会員間の交流を目的とした夏季レクリエーション（8月7日(休)仙台市内で観劇鑑賞）を実施し、秋には岩手県で秋季研修会を開催しと理解情勢活動を行うことを確認しスケジュール調整を実施しました。また来年3月に福島県で開催する第

53回東北酪農発表大会については9月開催予定の第4回委員会において大会会場を決定することを確認しました。最後に再来年の令和9年に全国酪農発表大会開催が東北地区となることから、過去の東北における全国大会開催地を確認し全国大会が開催できる候補地について協議を行いました。

関係各位のご協力を得ながら、各行事について実施予定でございます。引き続き皆様ご協力について宜しくお願い致します。
(J.N)



仙台
支所発

「秋田県南部酪農業協同組合 設立祝賀会」 盛大に開催！

羽後町酪農農業協同組合と雄勝酪農農業協同組合は令和7年4月1日(火)に合併し、秋田県南部酪農業協同組合（代表理事組合長 伊藤敏明「以下 伊藤組合長」）が誕生しました。5月30日(金)秋田県湯沢市内のホテルにおいて「秋田県南部酪農業協同組合 設立祝賀会」が、地域関係機関並びに関係者参集の下、盛大に開催されました。

伊藤組合長は「組合員の要望・付託に応えられる組合、学校給食牛乳の供給や牛乳・乳製品の販売、さらに耕

種農家・畜産農家の連携を強化し、地域社会に貢献できる組合、新しい取り組みにも果敢にチャレンジする組合、小さな酪農組合ですが「新しい酪農組合」をつくることを念頭に合併しました」と挨拶されました。

旧雄勝酪農協（湯沢市）の事務所を本所として、旧羽後町酪農協の事務所を羽後支所として、新組合を運営されますが、まだまだ続く厳しい酪農情勢を乗り越えて、ますます発展されることをご祈念いたします。（I.Y）



▲ 新組合役員・顧問



▲ 新組合職員

名古屋
支所発

岐阜県で「牛乳の日」「牛乳月間」のイベントを開催

6月1日は「世界牛乳の日（WORLD MILK DAY）」ですが、日本でも6月1日は「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」としています。6月1日(日)に岐阜県酪農農業協同組合連合会（清水清人代表理事会長）主催の「牛乳月間」のイベントが開催されました。岐阜市の岐阜公園にて、地元牛乳の試飲やPRパンフ

レットとミルメークの配布、模擬搾乳体験を行いました。当日は天候に恵まれ、家族連れやグループがイベントブースに立ち寄り、「冷たくておいしい!」「給食の頃に飲んでいて懐かしい味」と牛乳をごくごく飲まれていました。模擬搾乳体験も多くのお子さんで賑わい、盛況なイベントとなりました。（A.T）



▲ 搾乳体験風景



▲ 搾乳体験

名古屋
支所発

中部酪農青年女性会議主催 「農林水産省 東海農政局長への牛乳贈呈式」の開催

中部酪農青年女性会議（西尾直樹委員長）は、6月4日(水)に東海農政局を訪問し、秋葉一彦東海農政局長に牛乳を贈呈し、牛乳の消費拡大のPRを行いました。

情報交換の場では、ここ数年の飼料や酪農資材及び燃料等の高騰などで酪農情勢が逼迫していることを報告しました。

あわせて本年度の当会議の活動計画、岡山市で開催される全国酪農青年女性酪農発表大会など多岐にわたり情報交換を行いました。

東海農政局の秋葉局長は酪農に対し大変関心を持っておられ、各地の酪農の情勢について、中部会議

役員に様々な質問をされました。また地域のブランド牛乳やヨーグルトなどの乳製品を購入されているとのことで、味の印象を語られました。

東海農政局には、県民が自由に出入り出来る「消費者の部屋」があり、そこには毎年この時期、牛乳・乳製品のアピールをするために展示を行っていただいています。

中部酪農青年女性会議は、安全面に配慮しながら今後とも積極的に酪農家のために普及活動を推し進め、また、良質で安全な牛乳の安定供給と牛乳の消費拡大に努めて参ります。
(S.M)



▲ 情報交換の様子



▲ 消費者の部屋(牛乳に関する展示)



▲ 前列左から西尾委員長、秋葉局長、高橋副委員長

名古屋
支所発

愛知県酪農農業協同組合 6月2日「牛乳の日キャンペーン」開催

6月2日(月)、愛知県酪農農業協同組合主催による牛乳の日キャンペーンが開催されました。本キャンペーンの趣旨は「6月1日は牛乳の日、6月は牛乳月間」をPRするとともに、牛乳の良さを普及・啓発することです。

乳業メーカー・関係団体の皆さんが、名古屋駅前の2ヶ所に分かれ、PRのチラシとミルメークを道行

く一般消費者の方々へ配布しました。

受け取っていただいた方より「毎日牛乳飲んでます！頑張ってください」と嬉しいお言葉をかけて頂きました。

一般消費者の声を直に聞くことができる貴重な機会ですので、今後もこのような普及活動を続けていきたいと思えます。(S.K)



大阪
支所発

徳島県庁にて牛乳消費拡大を呼びかけしました! (6月は牛乳月間)

6月11日(水)、Jミルク徳島(徳島県酪農農業協同組合)の会員・役職員13名は徳島県庁に訪問しました。

県庁11階にある食堂のCO-CAGEキッチンにおいて、昼食時間に県庁職員や来庁者の方に対し、牛乳・乳製品を配布すると同時に、レシピ集等で牛

乳・乳製品の活用方法をお伝えし、消費拡大を呼びかけました。

その後、県民の代表である後藤田正純知事に面会し、国際紛争や円高による資材・飼料の価格高騰による酪農の厳しい現状をお伝えし、牛乳・乳製品の消費拡大に対するご協力をお願いいたしました。(K)



原稿募集

「酪農トピックス」では皆様からの記事を募集しております

共進会、B&W、酪農祭り、親睦スポーツ大会といった催事情報から組合住所の変更や移転等案内情報、そして直営店情報や組合の自慢情報まで、酪農トピックスでは会員の皆様からの原稿を募集しております。本コーナーは会員の皆様の情報交換の場です。ぜひご活用ください。

送付先 皆様のお近くにありますが本会支所までご送付・ご連絡ください。

■札幌支所

〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1 酪農センター5階
tel. 011-241-0765

■名古屋支所

〒460-0008
名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3階
tel. 052-209-5611

■仙台支所

〒980-0014
仙台市青葉区本町2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ8階
tel. 022-221-5381

■大阪支所

〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル6階
tel. 06-6305-4196

■東京支所

〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館4階
tel. 03-5931-8011

■福岡支所

〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7階
tel. 092-431-8111

(一社)全酪アカデミーも
参加しています



新・農業人フェア

(主催:株式会社農協観光、運営:株式会社マイナビ、協賛:全国酪農業協同組合連合会他)

例年農林水産省補助事業として開催されている「新・農業人フェア」は、就農希望者と就農希望者を募集する自治体や農業法人等が一堂に会し、就農相談やセミナー、説明会を行う就農相談会です。

「農業を知りたい」「働きたい」「かかわってみたい」という気持ちをもつ全ての方を対象とした、国内最大級の就農イベントです。入場は無料！入退場も自由。

イベントの詳細はこちら



●令和7年度開催日程

開催日	種別	会場
8月2日(土)	農業就職・転職 LIVE	歌舞伎座タワーマイナビ PLACE 23F (東京都中央区銀座)
9月15日(月・祝)	農業 EXPO	国際フォーラム Eホール (東京都千代田区有楽町)
11月9日(日)	農業 EXPO	グランキューブ大阪イベントホール (大阪府大阪市北区中之島)
11月23日(日)	農業 EXPO	東京ビッグサイト東8ホール (東京都江東区有明)
2月11日(水・祝)	農業就農・転職 LIVE	東京交通会館ダイヤモンドホール (東京都千代田区有楽町)



一般社団法人 Zenraku Academy

全酪アカデミー

令和6年3月～令和7年6月

活動報告

令和6年度

3/12 第40回理事会
【第1号議案】令和7年度事業計画（案）について

令和7年度

4/18 第41回理事会
【第1号議案】定款の変更（案）について
【第2号議案】賛助会員の入会承認について

5/12 第42回理事会
【第1号議案】令和7年度（第5事業年度）定時社員総会議案書（案）の承認について
【第2号議案】定時社員総会の日程について

令和7年度（第5事業年度）定時社員総会
【第1号議案】第4事業年度事業報告及び収支決算の承認について
【第2号議案】第5事業年度事業計画について
6/20 【第3号議案】第5事業年度負担金、年会費の賦課について
【第4号議案】理事及び監事の報酬について
【第5号議案】定款変更について
【第6号議案】役員改選について

第43回理事会
6/20 【第1号議案】理事の順位について
【第2号議案】運営委員の任免について

新役員体制

理事長



熊谷 法夫(重任)
全国酪農業協同組合連合会
専務理事

理事



佐藤 弘(重任)
全国酪農業協同組合連合会
常務理事



岡田 征雄(重任)
一般社団法人全国酪農協会
常務理事

監事



森 剛一(重任)
森税務会計事務所 所長

賛助会員 加入状況

承認年月日

令和7年4月18日
令和7年4月18日
令和7年4月18日
令和7年4月18日
令和7年4月18日

会員名

石川県酪農業協同組合
浜名酪農業協同組合
愛知県酪農業協同組合
三重県酪農業協同組合
岐阜県酪農業協同組合連合会



日本酪農
政治連盟

酪政連活動報告

令和7年4月～6月

4/22 ●正副委員長会議 農林水産省牛乳乳製品課との意見交換会（於 酪農会館、全酪連役員会議室）

5/8 ●東野ひでき後援会 柴田委員長出席

5/16 ●九州酪農政治連盟協議会 各県会長・委員長、事務局合同会議へ出席、坂本幹事長情勢報告

●「自由民主党酪政会 総会」及び「農業構造転換集中対策を強力に推進する緊急総決起大会」を傍聴
（於 自由民主党本部） 32 会員 73 名出席
令和8年度酪農政策・予算確保に関する要請について柴田委員長発言



▲ 酪政会 森会長

5/21

●三役会議・中央委員会（於 自由民主党本部）
令和8年度酪農対策・予算確保に関する要請書（案）について協議
農林水産省牛乳乳製品課 平田裕祐課長補佐より生乳需給安定クロスコンプライアンスの導入について説明



▲ 柴田委員長

▲ 農林水産省牛乳乳製品課 平田課長補佐

5/30 ●自由民主党税制調査会主催の勉強会「テーマ：消費税について」へ出席（於 自由民主党本部）

6/4 ●中国地区酪農政治連盟協議会 令和7年度通常総会へ出席

6/6 ●青森県酪農協会 第58回通常総会へ出席

●森山幹事長へ要請活動 三役参加（於 自由民主党本部）
令和8年度酪農対策・予算確保に関する要請について骨子を説明
酪農情勢と併せて酪農ヘルパー制度への支援について意見交換



6/11

●農水省 消費・安全局長と面会 三役参加（於 農林水産省）
ランピースキン病並びに畜産防疫対策について 令和7年度特別要請書を提出



●築 畜酪対策委員長と面会（於 衆議院議員会館）
需要拡大に向けた政策の必要性について意見交換



令和7年度需給見通し

生乳生産量微減も牛乳低迷 乳価値上げで需要拡大必須

Jミルクが5月30日に公表した需給見通しによると、令和7年度の生乳生産量は0・5%減の733万5千tで、北海道における個体乳量増等を背景に1月に公表した需給見通しから0・3ポイント上方修正。微減と見ている。一方、乳価値上げに伴う製品価格改定による牛乳等の消費減退が今後見込まれることから、引き続き需要拡大が喫緊の課題となっている。

また、Jミルクの需給見通しによると、令和7年度末時点の脱脂粉乳在庫は8万600

t、前期末比2万8600t増の見込み。バターは需要が国内生産量を上回る状況から、輸入分を含め期末在庫は3万1100tにとどまる見通しとなっており、前年度に引き続き脱粉とバターの需要不均衡の解消に取り組む必要がある。前年度は、生・処協調による在庫対策の効果もあり、脱脂粉乳の期末在庫量は5万2千tと需要の約4カ月分の水準に留まった一方、現在は引き続き脱粉生産量が需要量を大きく上回っている。

(6月10日号)

自民党農林幹部

農業構造転換集中対策実施へ 森山幹事長らが小泉農相に要請

自民党の食料安全保障強化本部や政務調査会、総合農林政策調査会、農林部会はこのほど、農業構造転換集中対策の実施に向けた予算確保などを求める党としての緊急決議を小泉進次郎農相へ手渡した。

緊急決議では、改正食料・農業・農村基本法の初動5年間を「農業構造転換集中対策期間」と位置付け、従来の農業関係予算とは別枠で2・5兆円の予算を求めている。

森山裕食料安全保障強化本部長(党幹事長)は「農作物は凶作の時もある。特に主食のコメについて凶作の際どう対応をするかが大切だ」と伝えた。小泉農相は

「党から抜本的な予算の強化を後押しいただき大変心強い」と述べ、政策実現に向け政府全体で取り組んでいくとした。

(6月10日号)



▲ 小泉農相(中央)に要請書を手渡す森山本部長(左から2人目)ら本部役員

令和6年度牛乳統計

生乳生産1%増加に転じる 牛乳は前年並、発酵乳5・5%増

農水省の牛乳乳製品統計によると、令和6年度の生乳生

産量は0・7%増。閏年だったことを加味すると、実質1・

令和6年度末の出荷農家戸数

県名	3月	
	前年比	
北海道	4,279	95.4
青森	126	95.5
岩手	544	93.8
宮城	308	92.2
秋田	59	92.2
山形	131	93.6
福島	161	92.5
東北計	1,329	93.3
茨城	209	92.9
栃木	459	94.6
群馬	282	93.1
埼玉	99	87.6
千葉	304	95.0
東京	33	89.2
神奈川	92	88.5
山梨	24	100.0
静岡	129	94.9
関東計	1,631	93.4
新潟	107	89.2
富山	27	93.1
石川	28	90.3
福井	16	106.7
北陸計	178	91.3
長野	185	89.4
岐阜	69	95.8
愛知	172	95.6
三重	22	91.7
東海計	448	92.8
滋賀	27	93.1
京都	35	94.6
大阪	18	94.7
兵庫	155	89.6
奈良	27	90.0
和歌山	4	100.0
近畿計	266	91.1
鳥取	92	98.9
島根	62	89.9
岡山	143	92.9
広島	88	93.6
山口	39	95.1
中国計	424	94.0
徳島	60	98.4
香川	47	92.2
愛媛	63	90.0
高知	30	93.8
四国計	200	93.5
福岡	135	93.1
佐賀	26	92.9
長崎	81	92.0
熊本	370	93.4
大分	63	90.0
宮崎	167	93.3
鹿児島	108	93.9
九州計	950	93.0
沖縄	46	95.8
都府県	5,472	93.1
合計	9,751	94.1

全酪新報

- 人が牛乳を必要とし、牛肉を必要とし、緑を必要とする限り、酪農は誇り高い永久の仕事です。
- 明日へ向かって前進する酪農界の動きを全酪新報は正確に報道します。時に怒りの声を、時に喜びの声を…幅広くお伝えします。
- ご家族でご愛読いただける酪農専門紙です。
- 毎月1日、10日、20日発行、年間購読料は6,600円(税込・送料込)です。
- お支払(請求書到着後)は、郵便振替、銀行振込、クレジットカード決済がご利用いただけます。
- 見本紙ご希望の方はお申し出下さい。無料です。(見本紙にバックナンバーは含まれません)

全酪新報/
購読お申込フォーム



一般社団法人 全国酪農協会

電話 03 (3370) 7213
www.rakunou.org



中央酪農会議がこのほど公表した令和6年度指定団体別出荷農家戸数(いわゆるインサイダー)調査によると、今年3月末時点で指定団体を通じて生乳を出荷している全国の酪農家戸数は、前年同月比60.7戸、5.9%減の9751戸。令和5年度比で見ると減少率は同値だが、都府県の離農割合は北海道と比べて依然高い傾向が続いている。戸数を10年前の平成26年度と比べると、6千戸以上も減少しており、安定供給の維

持、生乳生産基盤対策と合わせ、離農に歯止めをかける政策が急務となっている。戸数を地域別にみると、北海道は4279戸で、204戸、4.6%減。都府県は5472戸で、403戸、6.9%減。直近で最も離農が進行した令和4年度の8.7%減と比べると減少率は縮小してきているが、急減してきた出荷農家戸数は昨年10月、ついに1万戸を割る事態にまで陥っている。(5月20日号)

0%増(本紙計算・四捨五入、以下同)で、令和4〜5年度と2年連続減産だった状況から生乳生産は増加に転じた。一方、牛乳消費量については前年並みで、はっ酵乳は5.5%増と需要面も一部好調

に推移しているが、増産を目指す新たな酪肉近の生乳生産目標数量の達成に向け、引き続き関係者一体での消費拡大、理解醸成の取り組みの推進が求められる。(5月20日号)

中酪・令和6年度末出荷戸数
全国で600戸超減少の9751戸
都府県の離農割合依然高い水準

ZENRAKU Summer Gift 2025

取扱期間 2025年6月16日～8月29日 ※一部商品のぞく。

全酪乳製品セットA

税込**3,856円** (本体3,570円)



内容：とろけるスライスチーズ126g/スライスチーズ126g/スモークチーズ120g/6Pチーズ108g/酪農家めぐるチーズ80g/酪農家バター（加塩）200g：各1個
アレルギー物質：乳



全酪乳製品セットB

税込**5,508円** (本体5,100円)



内容：とろけるスライスチーズ126g/スライスチーズ126g/スモークチーズ120g/6Pチーズ108g/全酪ゴーダ125g/酪農家めぐるチーズ80g/酪農家バター（加塩）200g/全酪パウダーチーズ70g：各1個
アレルギー物質：乳



全酪 牛飼いのバター5個セット

税込**4,320円** (本体4,000円)



内容：牛飼いのバター（加塩）200g×5個
アレルギー物質：乳



その他にもたくさんの商品をご用意しております。
ぜひオンラインショップにてご確認ください！

ご注文方法

全酪連ギフトオンラインショップ
(<https://zenrakuren.stores.jp/>)



取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し（お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による）扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 問合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍 冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易 全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。（簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。）
9. **短冊 短** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。
10. **記入欄** マークの付いている商品は熨斗の表書きにご指定の文字が入られます。商品によりスペースが異なり、全ての文字を入れられないこともございます。ご了承ください。
11. **お中元** マークの付いている商品は熨斗の表書きがお中元のみとなります。

全国酪農業協同組合連合会

- 本所 酪農部
- 札幌支所
- 仙台支所
- 名古屋支所
- 大阪支所
- 福岡支所

〒151-0053
〒060-0003
〒980-0014
〒460-0008
〒532-0011
〒812-0016

東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館
札幌市中央区北 3 条西 7-1 酪農センター
仙台市青葉区本町 2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ 8F
名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 3F
大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F
福岡市博多区博多駅南 1-2-15 事務機ビル 7F

TEL 03-5931-8008
TEL 011-241-0765
TEL 022-221-5381
TEL 052-209-5611
TEL 06-6305-4196
TEL 092-432-2121

FAX 03-5931-8025
FAX 011-241-0769
FAX 022-221-5384
FAX 052-209-5614
FAX 06-6305-4899
FAX 092-431-6313

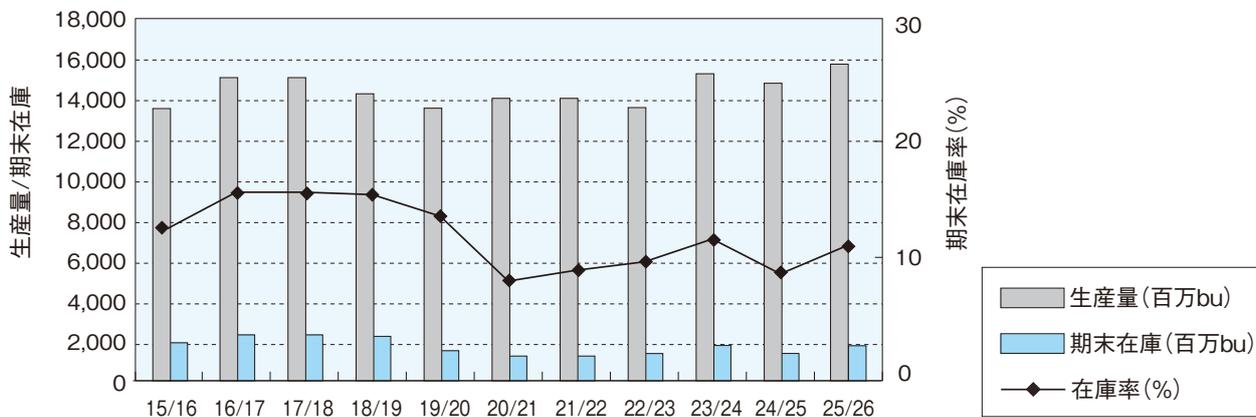


原料情勢

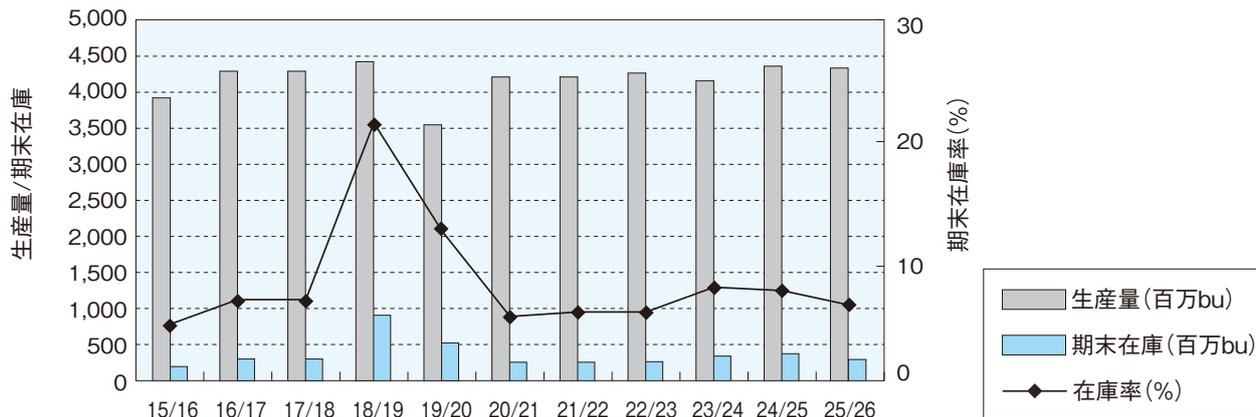
令和7年6月

		24/25年産	25/26年産
6月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積 (百万エーカー)	90.6	95.3
	単 収 (ブッシェル/エーカー)	179.3	181.0
	生 産 量 (ブッシェル)	148億6,700万	158億2,000万
	需 要 量 (ブッシェル)	152億9,000万	154億6,000万
	期末在庫 (ブッシェル)	13億6,500万	17億5,000万
	在 庫 率	8.93%	11.32%
トウモロコシ 相場動向	今回の需給報告では旧穀、新穀共に期末在庫が減少したが、予想された数字であったことや、米国・南米が豊作見込みとなっていることから上値は重く、大きな変動は無かった。今後は米国の天候相場が本格化するため、注視する必要がある。		
大豆粕 相場動向	米国・南米共に豊作予想なことから上値が重い展開が予想される。また、米国での再生燃料使用義務案によって米国内の搾油量が増加しており、供給過多となる可能性から相場は弱含みに推移している。		
糟糠類	【一般フスマ】 各製粉メーカーの稼働は概ね良好である一方で、飼料需要の減退から在庫が重い状況となっている。		
	【グルテンフィード】 国産の足元の発生は昨年並みであるが、昨年対比飼料需要が強いため、引き続き国産在庫が例年対比タイトとなっている。輸入（中国）についてはスターチメーカーの採算が悪く稼働を抑えていることから発生量も減少している。		
海上運賃	海上運賃については中国向け鉄鉱石の動きが活発化したことや原油需給の引締まり、イスラエルのイラン空爆といった地政学的なリスクもあり、大きく値を上げている。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





北米コンテナ船情勢	<p>北米西海岸を中心とする航路では、本船スケジュールに乱れが生じており、主要な乗継航路を含め、混雑が続いています。特に北米航路の一部が寄港するシンガポール、中国、釜山などのアジアの主要港で滞船が長期化しています。また、トランプ大統領就任後、各国へ関税引き上げ策を打ち出し続けており、中でも米中間の動向は懸念が高まっていますが、5月14日より、4月初旬以降に引き上げた関税率を一時的に停止する措置を発表したことで、中国から米国への輸出貨物の船積予約が増加しています。また、北米から中国への空コンテナ輸送も相まって、主要港である、寧波、上海、青島では沖待ちが多く発生しており、港湾混雑とコンテナ不足が深刻化しています。関税停止措置の期限は8月14日となっており、前倒しで出荷する動きも見られているため、更なる海運情勢の悪化が懸念されています。また、日本国内では団体交渉が難航し4月から5月にかけて、港湾労働者による時限ストライキが行われていましたが、5月14日の仮協定を持って合意となりました。</p>
アルファルファ	<p>【ワシントン州】 主産地であるコロンビアベースンでは、1番刈の収穫作業が終盤を迎えています。冷涼な気候が続く、生育も順調でしたが、中～南部の地域では半数近くで、降雨被害が発生し、収穫スケジュールが2～3週間遅れています。降雨を避けて収穫した圃場では刈遅れの品質となっています。一方、北部では、良好な気候が続いており、今後の天候次第では良品が多く発生することが期待されています。産地相場は未だ形成されていませんが、中東向けで高成分の引き合いが堅調であることや、降雨被害により上級品が不足する可能性もあるため、今後の動向には注視が必要です。</p> <div data-bbox="1075 551 1471 786"> </div> <p>▲ アルファルファ圃場と1番刈 コロンビアベースン 5月下旬撮影</p> <p>【オレゴン州】 オレゴン州南部クラマスフォールズでは1番刈の収穫作業が開始されており、スケジュールに遅れもなく、例年並みの収穫時期となる見通しです。同州中部クリスマスバレーでは6月末頃から収穫作業が開始される見込みですが、春先の気候が、例年よりも冷涼だったため、収穫作業に遅れが出る可能性があります。しかしながら、両地域ともに生育期間中の天候には恵まれており、今後も好天が続けば、例年並みの良品が期待されています。作付面積については、隣接のカリフォルニア州酪農家からの高成分需要があること、また、当地のアルファルファ生産農家にとって換金性が高い代替作物がないことから、前年とほぼ横ばいの見込みです。</p> <div data-bbox="1075 875 1471 1111"> </div> <p>▲ アルファルファ圃場と1番刈 クラマスフォールズ 6月上旬撮影</p> <p>【カリフォルニア州】 カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、2番刈の収穫が終了し、3番刈の収穫作業が行われています。産地では、最高気温が40℃近い日が続いていますが、見た目が綺麗な良品が収穫されています。今後、収穫される品質は、成分値が低く、色褪せたサマーヘイが収穫される見通しです。灌漑局の発表によると、5月15日時点でのアルファルファの作付面積は145,743エーカーとなっており、前年同期の144,365エーカーからやや増加しています。</p>
米国産チモシー	<p>主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは、1番刈の収穫作業が南部の早い圃場で開始されています。暖冬の影響で、雑草が混入した圃場もありますが、春先に冷涼な気候が続いたこともあり、良品が収穫される見通しです。</p>
スーダングラス	<p>カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、5月中下旬から25年産の収穫が順次開始されています。灌漑局によると、6月1日時点でのスーダングラスの作付面積は23,575エーカーで、前年同期の14,371エーカーから増加しています。当初、作付面積は20,000エーカー程度と予想されていましたが、産地での2022年産や2023年産の旧穀在庫が少なくなってきたことや、輸出業者が生産農家に対して作付を促したことで、予想を上回る作付面積となっています。しかしながら、多くの生産農家は産地相場低迷により、作付意欲が低いため、2番刈に進まず、1番刈終了後に秋野菜の生産に備えると予想されています。</p>
クレイングラス	<p>クレインは全酪連の登録商標です。</p> <p>主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、1番刈の収穫作業が終盤を迎えており、圃場によっては2番刈の収穫が開始されています。これまで収穫された品質は葉付きが良く、色が綺麗な上級品が中心ですが、昨年のDIP（休耕地政策）の影響により、雑草が混入した中～低級品も発生しています。灌漑局の発表によると、2025年5月15日時点でのクレイングラスの作付面積は22,857エーカーとなっており、前年同期の21,353エーカーから増加しています。</p>
豪州産 オーツヘイ・ ウィートストロー	<p>豪州の各地域では降雨不足が顕著であり、5月の月間降水量は例年同月の10%以下となりました。西豪州では大半の圃場で播種作業が完了しています。4月の降雨により発芽はしたものの今後の生育には降雨が必要な状況となっています。南豪州では播種作業が継続して行われていますが、西豪州同様に降雨が不足しています。今後の降雨次第では、作付け計画を変更し、小麦や大麦を作付する生産農家もいることから、オーツヘイの収量の減少が懸念されています。東豪州では播種作業が順調に進んでおり、地域によって異なりますが、広範囲での降雨も予測されています。今後、降雨が続けば生産に問題はない見通しですが、乾燥した気候が続くと収量への影響も危惧されることから注視が必要です。</p>

※粗飼料情勢の全文は弊会ホームページに掲載しています。

乳牛産地情報

令和7年7月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇐……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	25~35	⇐	札幌管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で102.9%、累計で102.2%、苫小牧管内月計で101.1%、累計で100.0%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。秋分娩の出回り頭数が増える一方で、夏場導入リスク回避の購買意欲の低下から軟調に推移すると見込まれます。経産牛については、道内の引き合いが見られますので相場は横這いで推移すると見込まれます。育成牛に関しては、初妊牛と同様の背景から、やや弱含みに推移すると見込まれます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛を取り揃えておりますので、ご希望がございましたらお問合せください。
	初妊牛	53~63	↓	
	経産牛	40~50	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	25~35	↓	根釧管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で105.1%、累計で103.9%、中標津管内月計で103.2%、累計で102.0%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。初妊牛については、夏場の暑い時期の移動リスクを考慮し、引き合いは弱くなると見込まれます。腹別では依然としてF1が底堅く推移しており、雌雄選別腹においても乳牛資源の減少や道内需要の影響から並み以上の牛については、一定程度の引き合いは見込まれます。経産牛については、即戦力となる産歴の少ない牛は道内需要が高く、相場は横ばいで推移すると見込まれます。育成牛については、夏生まれの引き合いが弱いことから、弱含みで推移すると見込まれます。
	初妊牛	50~60	↓	
	経産牛	38~48	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	30~40	⇐	帯広管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.8%、累計で103.9%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。初妊牛については、分娩時期の偏りにより、秋分娩予定の頭数が多いと見込まれることから、出回る資源は豊富にありますが、夏場の導入リスクを考慮して、導入意欲は低下する事が予想されますので、価格は弱含みで推移すると見込まれます。経産牛については、相場が落ち込む時期ではありますが、道内の引き合いが強いことから、価格は横這いで推移しております。育成牛に関しては、道内の引き合いはあると見込まれますが、相場はやや弱含みで推移するものと予想されます。
	初妊牛	53~63	↓	
	経産牛	45~55	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	25~35	↓	道北管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.0%、累計で99.4%、北見管内月計で103.5%、累計で102.4%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。資源も豊富に出てくることが予想されますので、弱含みに推移すると考えられます。腹別の資源に関してはF1腹・雌雄選別腹ともに潤沢にある状況になります。経産牛に関しては、弱含みで推移するものと考えられますが、道内の乳価値上げに伴い、道内の搾乳用素牛需要が上向くという予想もあることから、想定以上に価格が動く可能性があります。
	初妊牛	50~60	↓	
	経産牛	33~43	↓	
道内総括	育成牛(10-12月令)	25~35	↓	道内の6月中旬までの生乳生産量前年比は103.6%、累計で102.5%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、秋分娩が中心となります。夏場の導入リスクを避けるために荷動きは鈍化するものと予想されることから、全体の引き合いは弱まり、相場については弱含みで推移する事が見込まれます。しかしながら、乳価値上げの背景から道内酪農家からの需要が活性化する可能性もあるため、資源状況や導入動向について変動が大きくなる可能性もあります。需給状況については引き続き注視が必要になります。今後導入予定がございましたらお早目に弊社担当者までご連絡を頂き、ご要望に合った搾乳用素牛を供給いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。
	初妊牛	52~56	↓	
	経産牛	40~50	→	

今月の表紙

今月の表紙は「第14回酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「母になったマノン」(福島県 椎谷美保氏 撮影)です。



編集後記

- 今年の「らくのうこどもギャラリー」には、全国から304点の応募をいただきありがとうございました。厳正な審査の結果、選ばれた入賞作品をご紹介します。ご応募いただきました皆さまには心から感謝申し上げますとともに、来年もより多くの応募をお待ちしております。
- 梅雨明けはまだですが、暑い日が続いています。熱中症を予防するためにも水分補給をしっかり行い、牛たちの暑熱対策も万全にして、この夏を乗り切りましょう!
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

令和7年7月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 7月号 No.718

● 編集・発行人 飯島洋一
 ● 発行 全国酪農協同組合連合会
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
 TEL 03-5931-8003 <https://www.zenrakuren.or.jp/>

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



うしさん

会津若松市立松長小学校 1年(東北) 村上陽香

今月の入賞作品は…

会津若松市立松長小学校 1年(東北)の村上陽香さんの作品です。

画面の半分を牛さんの顔のアップにしたダイナミックな構図が目を引きます。力強いタッチと繊細な色使いで個性的で魅力溢れる作品に仕上がりました。圧倒的な迫力があり特選に相応しい素晴らしい作品です。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第51回らくのうこどもギャラリー」で全国304点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議